

時代のニーズにあわせた グルメシェティ神戸の推進を

—今こそグルメの原点にかかるときだ

□座談会出席者（敬称略・順不同）

榎 晴夫	（△トム・キャンティ代表取締役）
郭 范煌	（△衛郭代表取締役）
山崎 仁嗣	（△衛東榮彌代表取締役常務）
美木 剛	（△衛レストランジャムーラン代表取締役）

—九月十六日から十一月三十一日まで、財団法人神戸ファッショングルメ協会主催による「グルメディアKOBE」のイベントが市内各所で行われています。グルメディアとは、「食（グルメ）」と「媒体（メディア）」とを結びつけた造語ですが、そこには、食は生活を彩り、人と人、人と場所、人と情報を結びつける媒体の役割を担い、そこから新しい情報や文化が生まれるとの考えがあります。店に特別ゲストを迎えた食談会「グルメ・プロムナード」、食品工場などを訪ねる「グルメ・ファクトリー・ツアーア」、参加二百店ほどを回るスタンプ・ラリー「グルメ・ゴーラウンド」など多彩な催しがあり、今年で五年目になります。

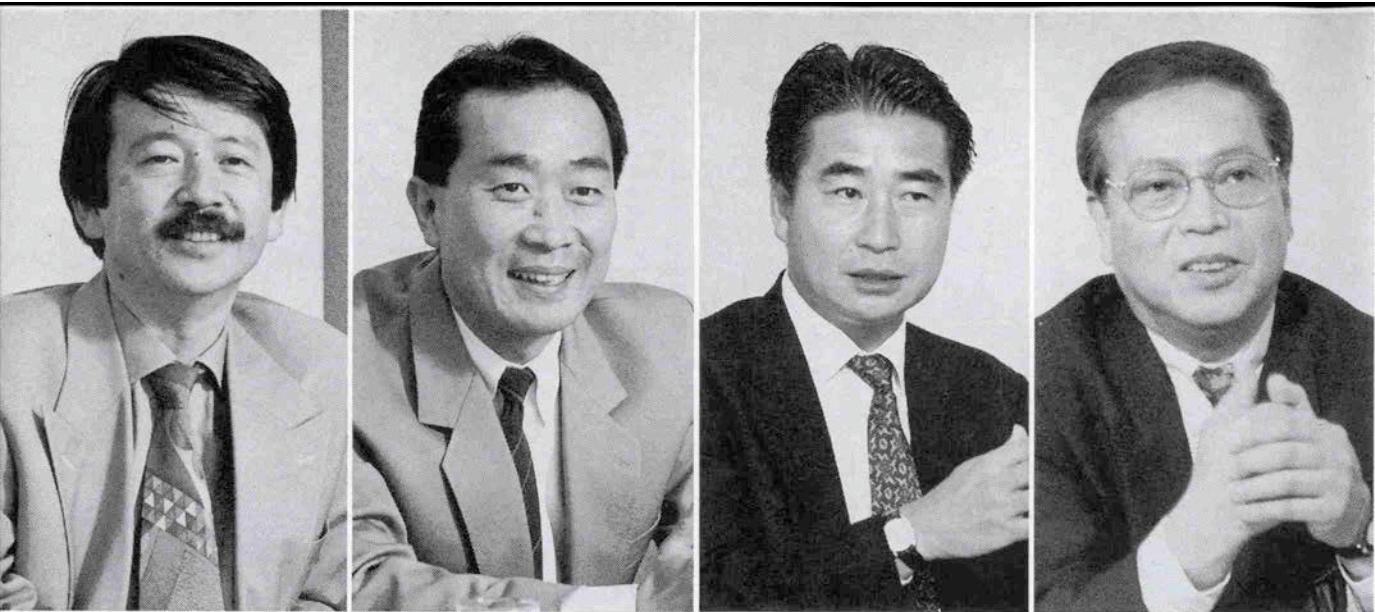
今回は、お店のオーナーの方々にお集りいただき、食を提供する側から神戸の飲食業界の現状や「食」を通じた街づくりについてお話をうかがいました。

★本当のグルメが良い料理職人をつくる

美木 この間、フランスに行ってきました。不況のせいだと思いますが、日本人やアメリカ人などの外国人観光客が少ない上、外国人労働者も仕事がないために国外退去を余儀なくされ、独特的のコスモポリタンな雰囲気がなくなり、非常にさみしくなっています。

反面、超高級レストランでも予約はすぐとれるし、店の対応は格段によくなつたようで、これは有難いことはあるのですが、今さらという感じもしますね。いずれにしても、世界的な不況によって、バケの皮が剥れるといふかにせものが通用しなくなつたことは確かですね。バブル時代に見てくれば、客を集めていた店が淘汰されていくのは、自分としては正しいと考えています。

今回の世界的な大不況で、神戸の高級店もろんにその



美木 剛さん

山崎 仁嗣さん

郭 范煌さん

柳 晴夫さん

波をかぶっています。特にわれわれフランス料理は厳しいですね。「生き残る」という事以外何もない有様です。私の店は16年間やっていますので、その間には当然景気の変動をろにかぶるわけで、今さらうるたえるのは男として情けない（笑）という気持ちもあります。男として頑張らねばなんと思っています。

山崎 私の店は、父親から受け継ぎ、今年で46年になります。皆さんのように自分で店を始めたわけではありませんので、大きなことは言いにくいのですが（笑）、ふぐに始まり、てんぷら、お寿し、いつの間にか懷石にまで手を広げました。しかし、こちらで何か『へそ』を見つけるためにも、もう一度原点を見つめなおさないと、と感じています。

美木さんのお話ではないのですが、景気が悪いと財布の紐が締まり、お客様に本物を提供するというのが、非常に難しくなっています。なにしろ本物は高いですからね。お客様の希望に合わせるのが大事になってしまいます。本来なら本物がわかつて貰えるお客様を育てていくのがいいのですが、たとえば魚にしても、天然ものと養殖ものとの違いをどう評価していただけるのか。お客様に価値をわかつてもらうためにも、原点を見つめなおすことが必要だと思っています。

かつてそうであったように、今も阪神間にお住まいの方々が神戸の『食』を育てるという形で足を運んでくれるか、というと、最早そうではないようですね。そのため、これらの時代は、観光客などの要望にも合わせた料理を提供することも大事になってくると思います。

郭 神戸は今、『グルメディア KOBE』と銘打って、グルメ都市づくりを進めていますが、神戸をグルメの街にするならば、市民自体がグルメになつていかないといけないと思います。表現がきついですが、「神戸の文化人が神戸の中華料理をダメにした」と私は言つてきました。つまり、中華料理にはお金をかけないとという考え方や中華料理は安くて美味しいのだという考え方があるんです。

しかし、お金を出さないで職人を育てようというのには無理な話なんです。いい素材を使わないといい職人は育たない。少し挑発的な言い方になりますが、神戸の若者達はこんなに味が解からないのか、安ければそれだけでいいのか、と思います。もつと“味”を理解してほしい。この不景気の中でも、これ以上は質を落せないものがあるだけに、私としてもつらいところです。そうは言つても、神戸の中華料理はそこそこ美味しいです。しかしながら、ひいきにする店で、いい素材を使って、いい料理を出させるには、いいものが作れるようにお金をかけていただきたいですね。でないと、職人は育たないです。“食”を通した都市づくりを考えるならば、大阪からおかぶを奪うような“食いだおれ”に神戸もならないわけないと思います。

榎 神戸市は、市民をグルメに育てあげようとしていますが、残念ながら“夜の文化”は、どんどんすたれています。昼間の文化になりつつあり、バー経営としては、非常に苦しいですね。しかし私としては、現在こういう状況の中で生きのびて行くためには、やはり本物を提供しないといけないということで、「お客様に健康を提供する」ということに重きを置いています。たとえば水にこだわっています。健康を提供することが私の店のテーマです。生きのびていくには本物志向であることが重要です。私はこの世界に入つて40年、店を開いて30年になりますが、オイルショックなど以前にも何度も何度か不況を体験しました。その度乗り越えることができたのは利益は少ないが「お客様に喜んでもらえる」ということを大切にしたためだと思っています。サービスも含め、きっちりとしたものを提供しているお店は神戸にもたくさんあります。美木さんのお話のように、不況によつてサービスが本来のあるべき姿に戻つたということはありますね。

郭 台湾や香港では、食通がいて、本物を使った高級品を食する人が多いですが、神戸ではどうでしようか。神

戸においても、お金持がそういうものを食べて、本物の素材を支持して行ってくれないと、ごまかしの味ばかりになってしまいます。たとえば、鮑などの干物を例にとりますと、このままで、すべて冷凍物になつてしまふ恐れがあります。もちろん新しい料理にもチャレンジしていくなければならぬのですが、やってはいけないことはやらない、というスタンスが店にないと、味なんかどんどん変わってしまいます。食の文化が育つためには、どうしても経済力がともなわないといけない。いい食べ手がいるから、いい職人が育つわけです。中国本土を例にとると、確かにいい素材は揃つていますが、いい職人はいない。たいてい、いい職人は香港の出身です。

山崎 「ひきぬかれる」つまり、より質が高く、より給料の多いところへ行くことは、香港においてはもちろん、どこの料理人にとっても名誉なことです。料理人が変われば、そのつど店の料理の質も変わりますが、お客様もいいものはいいと判断します。しかしそれには、郭さんがおつしやつたように経済力がないとダメだと、一番感じます。

もちろん料理人としたら“夢”はやりたい、しかし、こういう状況ですから、そればかり追求するのではなく現実とどう折り合いをつけて行くかが課題です。いい素材であればあるほど味付けはうすくなつてきます。それだけ素材の味を生かしていくからです。しかしそれはよほど素材がいいものの場合で、当然値も張ります。夢と現実の狭間でやるしかないですね。

美木 料理職人として言うと、全力投球すれば、お客様はちゃんと分かつて下さいます。

山崎 美味しいものを食べたい。しかし高いものには手が出ないといったときに、手頃な値段で手に入る本物をどれだけ探して、吟味して、お客様のふところに合わせていくかが今、求められています。

郭 それでも神戸では他都市に比べて、美味しいものが比較的安く食べられます。だからある意味で、神戸では

「安くて、うまい」でいいとは思うのですが、ただ安いだけでは困ります。特に中華料理に対する値段感を変えてしまいですね（笑）。

★店側がグルメを育てるこも必要

山崎 本物の味を知つてもらうためにも、口はばつたい言い方になりますが、我々がお客様を育てる努力が必要かもしれませんね。マスコミ情報は、実に薄っぺらなものですから。

榎 確かにガイドブックがある意味で本物に接する幣害になつてゐる分かりませんね。紹介されてゐる店のレベルが揃つてないことが多いようです。

ところで、神戸の経済人はよく『ケチ』だと言われる（笑）。神戸では、美味しいものが安く食べられることが当たり前になつてゐるからです。神戸は、その意味で、交通が便利で、環境がよくて、しかも美味しいものが安く食べられるという非常にぜいたくな街です。われわれは有難いと思わないといけない（笑）。だから、その上にあぐらをかいて人を育てることを忘れたらいけないと思います。

山崎 たとえば、一定期間、通常の料理の値段を安くして、しかも料理の質は下げず、『本物の味はこれだ』といふものを提供する。店の負担によつてお客様の舌を磨いていただきことも必要です。

たとえば、「グルメティアKOBÉ」（財団法人神戸フアッショナリイ協会主催）の中核行事として、店にゲストを招いて、その人の話と店の料理を楽しむ「グルメプロムナード」が11月に行なわれますが、ゲストなしで、その店のご主人が料理の話をして、今言いましたような料理を楽しんでいただくということを店の主催でやってもいいのではないかでしょうか。

榎 京都には若手の経済人のグループが京料理の振興に力を尽くしていますが、神戸にもそういうものがあればいいですね。若い人たちが、お金を出し合つて美味しい

ものをつくるということは大事です。

山崎 また京都の場合は、舞子さんがいたり、道具立てうまく揃つていますね。神戸でも料理をとりまく環境というか、文化的ロケーションをどうつくり上げ行くか、そのためには市民ひとりひとりが頑張らなければいけないです。

美木 そういうことでは、神戸は文化の消費の地という感じがします。美術や映画に関する著名人を数多く輩出しているにもかかわらず、それの人達に関する文化的な施設などは何もない。神戸から情報発信をしていない。そういうものがあれば、それを見に神戸に来たついでに美味しいものでも、となると思うのですが。

山崎 文化都市とPRしているわりには、文化を薄っぺらくしている感じがありますね。行政がそういったものを一生懸命保護しようとしているのではないでしょか。「グルメプロムナード」の話に戻りますが、これも料理店を主体にすれば、また形の違つたものになると思います。どういう店が参加するかなど、料理店同士で協議させたらどうでしよう。そしてそれをフアッショナリイ協会に応援していただく。

★『食』のイベントづくりが今後のテーマ

郭 「グルメプロムナード」につきましては、たとえば青年会議所のメンバーに客としてこぞつて参加していくとか、その店の常連客ではない、新しい客に参加していくことを考えないといけないのでないかと思うのですが。

榎 それと、神戸以外の他都市の人々に、神戸のグルメを認識してもらえるイベントにしないといけないですよ。それに関して言いますと、神戸に来る観光客をどう店へ来てもらうかも一つの課題ですね。

山崎 評判というものは、非常に恐しいもので、旅行社には客を紹介してもらいたい、しかし、かと言つてツアーチームが来た場合、ツアーチームの予算に合わせるととも

採算がとれない。だからと言つて質をおとすと、神戸の料理はたいしたことはない、ととられる恐れがあるため、それはできない。難しいところですね。

美木 神戸と他都市、たとえば札幌や博多とを比較した場合、神戸との一番の違いは、阪神間にブルジョワの層が厚いことですね。博多はいい素材があるにもかわらず、十分にそれを生かしていないし、札幌においては東京文化の踏襲。阪神間においては、ちゃんとしたものを出せばわかってくれるというところがあります。素材においても瀬戸内をひかえ、申し分ないと思います。

山崎

神戸の店は、そういういい素材の上に乗っかつて商売してきたようなもの。このいい素材を生かして、なにおかつ、お客様に無理のない値段で提供していく。その努力が必要だと思います。

郭 私どもは、お客様の支持があればこそ商売。

来年9月に関西国際空港が開港し、大阪湾岸道路が整備されると、これからは神戸にもっと来やすくなると思います。横浜の中華街には、東京を中心とした人が来るよう、神戸の南京町でも、関西一円から人が来てもらえ

る店づくり、市民に支持される店づくりをめざす必要があるよう思います。観光客だけでなく（もちろん、それも必要ですが）、わざわざ食べに来てくれるような客を呼べる店づくりが今後のテーマだと思います。こういう歴史と文化がきちんとあるわけですから、それを業界で勉強して行くことが必要ですね。

神戸にはまだ“水割り文化”を続いている残念な店もありますが、私としては、色々な意味でも勉強の場をつくって行きたいと思います。もちろんすでにそういう努力をしておられる人もいます。私としては、今後とも、夜と昼の文化の架け橋役に徹して行きたいと考えています。酒場というのは、本当は男がつくるのだという気概は、いつまでも持ち続けたいですね。美木さんが最初に言われたように、“男として”頑張ります。

——いろいろとお話を出ましたが、この不況下、各お店がいかに経営努力をされておられるか、改めて認識させられました。

お話の中に「グルメ・プロムナード」のことが出来ましたが、店が主体となつた食のイベント推進は確かに今後の大きな課題となつて来ると思います。

私どもでは、神戸には、これだけ多彩なお店があるわけですから、そのパワーを何とかまとめることが出来ないかと常々考えています。もちろん一店一店、個性と自己主張をもつておられますから、一つのグループづくりをするといつても時間がかかるとは思います。しかし、今日のお話には、そういうことに対する前向きの取り組みについての熱意も十分に感じられましたので、私どもとしてもお手伝いが出来ればと思っております。



毎秋、神戸市内でグルメのイベントが行なわれるが、その中でも「グルメ・プロムナード」はメイン・イベントである。“食”の多彩な楽しみ方の1つとして、市民の間に定着してきている。(写真は昨年の参加店)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田 崎 梅 作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川 上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「ファッショントリトリー神戸を考える」の企画は以上各社の提供によるものです。

■ ここに豊かな生活・生きがいづくりのために

アマチュアの人々が学べる 優れた舞台に

——ピッコロ劇団の創設

お話しを伺ったひと

山根 淑子さん 〈兵庫県立尼崎青少年創造劇場館長〉

兵庫県が昭和四十九年よりすすめている“〇〇〇〇活動”は、Oリカルチャーや、Sリースポーツ、Rリクリエーション、それぞれの活動を大いに発揮させる場を提供する活動です。各地域の若い人たちとの話し合いの中で生まれた施設は、今までで十五カ所以上、“ピッコロシアター”はその中でも、県立では初めての劇場として誕生しました。

同シアターは、舞台のスペースが客席の一倍もある大ホール、そして中、小ホール、資料室など“みる”ことより“演じる”ことに主眼をあいた魅力あふれる創造空間になっています。またソフト面でも鑑賞劇場、文化セミナー、実技教室と多彩な事業を展開。今までに、地域文化の向上に貢献した個人・団体に贈られる“サントリーエ地域文化賞（昭和六十三年）をはじめ、数々の賞を受けています。これは、地域にねざした文化活動のリーダー養成をめざす演劇学校を全国に先駆けて開設するなどの活動が評価された結果でしょう。

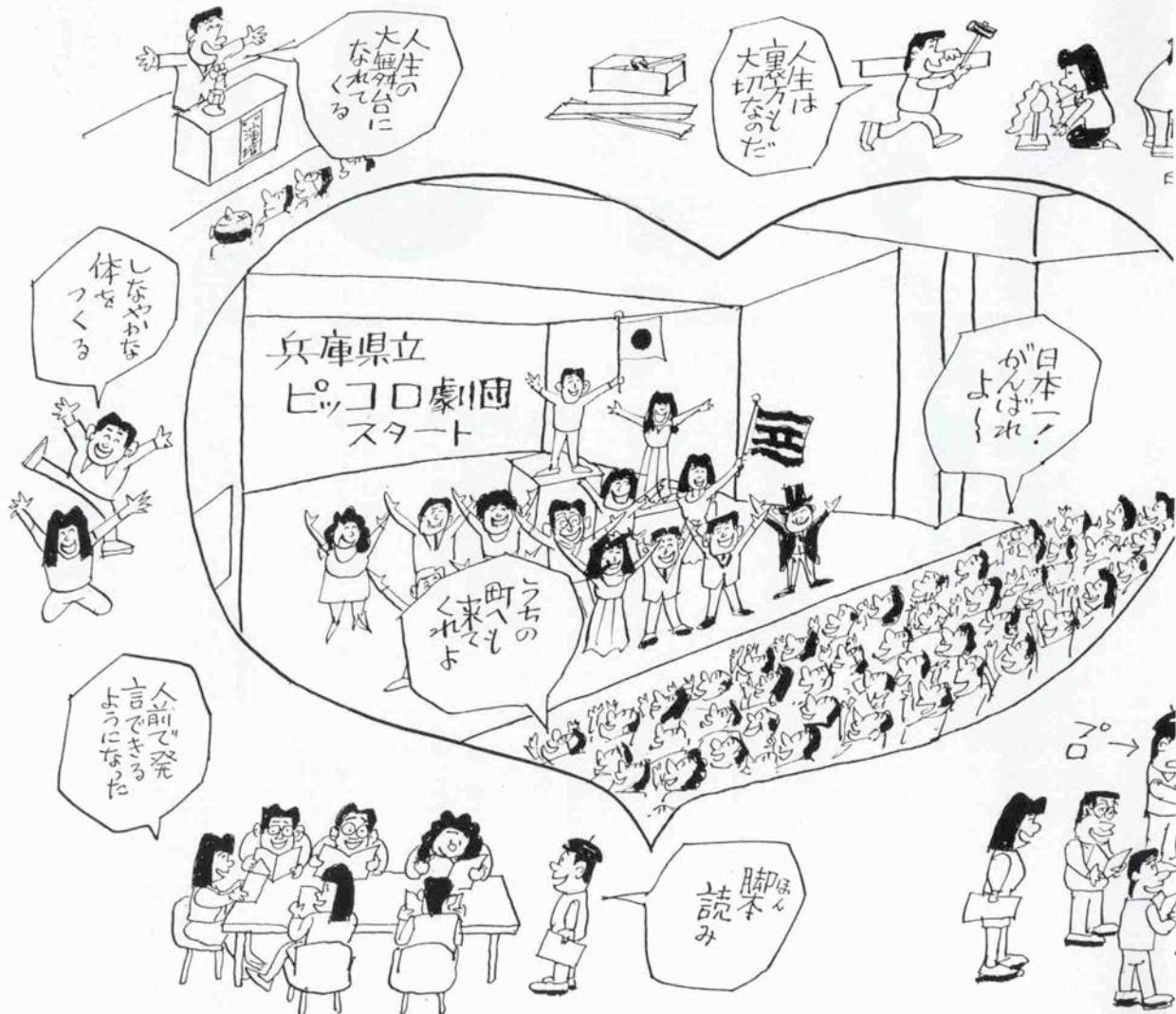
昭和五十八年から開設した“ピッコロ演劇学校”につき、舞台芸術を支え、フレーチュイフな地域文化の入

テージづくりの担い手を養成する“ピッコロ舞台技術学校”も昨年からスタートさせました。そして今年、ピッコロシアターは十五周年、ピッコロ演劇学校は十周年の節目の年を迎えます。そこで、これらの蓄積をもとに来年、関係者の懇願であり県立では初めての“ピッコロ劇団”を結成することになったのです。

「ピッコロシアターは県民のみなさんに喜んでいただけよう運営に努めてきました。劇団もよう多くの人に喜んでいたために、県内各地へ出向いて舞台をお目にかけたいと思っています。アマチュアの人たちは、プロの優れた舞台から学び、吸収していただきたいですね。プロとアマチュア、両方の活動を車の両輪のような形で大切にしていきたいのです」と語る山根館長さん。ピッコロシアターガ、県民から愛されている理由はこんなところにあるのかもしれません。

■お問い合わせは
兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）
☎〇六一四二六一九四〇代





重厚な歴史絵巻 一路真輝の双子役



紫とも
<宝塚歌劇団・雪組>



一路真輝
<宝塚歌劇団・雪組>



大田哲則
<宝塚歌劇団・演出家>

宝塚大劇場雪組公演は10月29日

から12月14日まで、ミュージカル
「ブルボンの封印」とミュージカル
「ベルボラ」を上演する。

今回は、出演の一途真輝さん、

そしてこの公演で大劇場最後の紫

ともさん、「ブルボンの封印」の

演出をされた大田哲則さんが、お

稽古のあい間を縫ってのお話しを

伺った。

■双子の役で誰だか分らない!

大田 こんな本があるから宝塚で

やつてみたらという話しがあり、

脚本を考えると久しくやってない

ものが出来たんですよ。主人公が

二役、それも双子というのは面白い

です。

一路 またまた二役(笑)。今回は

双子なので今までとは違いますけ

ど、同じ呼吸でも育った環境の違

いでの差を表わすのが、やつてて

すごく楽しいですね。

大田 ストーリーは17世紀のフラ

ンス。太陽王と呼ばれたルイ14世

の話しです。

一路 この物語の元となる「鉄仮面」のビデオを見ましたが、18世紀の「ベルボラ」とはまた違った

華やかさを持つ宫廷ですね。

紫 飾り立てないです。

一路 でも、その頃から庶民はパンが無いと訴えていたから、フランス革命って何百年の不満の積もりだらうと考えてしまいます。

大田 今回は紫の最後の舞台だし、姫のイメージがあるけど、エネルギッシュな役も結構いけるのじゃないかなとマノンを付けたら、うまくいってますよ。

一路 原作読んで、楚楚としたマリエールがともこ(紫とも)にぴ

つたりと思っていたら、大田先生

からマノンにするって言われて、

これは面白いと思いましたね。

大田 ともこでしか出来ないよう

な難しいキャラクターを与えたか

つたんですね。

紫 最後に悪女っぽい役に挑



戦です。感情のままに動くような

女性で頭の切れる役だから、鈍感な私自身とは正反対なので、今は

黙くふりをしているんです(笑)。

一路さんは、二役続きで一年間に普通の倍の役を演じてますね。

一路 やり易い面もありますね。

でもオスカルをした時に一つの役に浸り切って楽しかったし、どちらが良いかは分らないですね。

双子と言つてもルイは王として育てられ、感情に左右されないそれでいて自由な発想を持ち、とて

も人間らしい人。ジェームスは粗野な面も持つけど、今検討中です。

紫 私の心配は、混乱です(笑)。

一路 お稽古では衣裳の違いがないし、自分が誰か分からなくなつたり。おまけにマノンとマリエールを呼び違えたりしてね(笑)。

紫 私が間違えて『ごめんなさい』とあやまるとき、第三の一路さんが『うん』と答える。ルイとジェームスと一緒に三人も一路 最後に大早変わりがあつて

同じ衣裳で、あつちから出たり、こっちから出たりするし、ジェー

人あると思いますよ(笑)。

大田 これこれ、エンディングと最初の出は演出家の苦心の場面だから、舞台見るまでは内緒だよ。

一路 でも、初めのルイが5歳の戴冠式は、女役の子が長い長いマントで、すごくかわいい、とまたバ



ラしてしまいました(笑)。

紫 分り易い展開ですよね。

一路 今回は唄があまり無くて、早変わりが忙がしくて他の場面にはあまり出られないですね。お芝居と早変わりの公演ですよ。

大田 一路は優等生というのと、星の王子様のイメージが定着しているから、イメージは大切にしてゆきたいけど、殻を破るのに良い時期だと思ったんですよ。

■全部が見どころと言いたい!

一路 大田先生とは「ムッシュ・ド・パリ」以来5年ぶりですね。

大田 その前には新人公演や「レッド・ヘッド」などでチョコチョコあつたけどね。

一路 最近雪組は、黙って見てダメ出しされる先生が続いていたので、大田先生のように細かい所までを指摘されると、新鮮に感じます。下級生がとつつかまつて、手取り足取り教えていただいているのを見て、以前は私もこうだったナアと思ってたんです。すると上級生の方達も同じ事を言うんですよ。久しぶりって。

紫 先生によつてやり方が違うからとっても勉強になりますね。

紫 雪組はアキコ・カンド先生と言われましたが、久しぶりです。アキコ先生の心理描写の振り付けは表現が難しくて、苦労します。でも男役の総タイツ姿はス

ごい事だなと思ったの。

紫 回りを囲む側としても、お披露目だと力む事なく自然でしたね。お客様は「いいよ、一路さんがトップに」と言って下さった方が多くて良かったと思いました。

一路 ともこが横に居てくれたし、男役のピラミッドが出来てたから楽でしたね。東京公演で、ともこと毎日アドリブ応酬したけど、打ち合わせしなくてもうまく行つたね。それを思うと、もつと一緒に演られたかったなと思っちゃう。



「一路の今までのイメージも大切だけど、そろそろ殻を破るのに良い時期だよ」

テキですよ。

一路 ともこのサヨナラ公演になると、まだ意識がないですね。

紫 私も。最後の日くらいに感じると思うんですけど。でも最後に思い切り演れそうな役で嬉しいです。

一路 マリエールの役だと、押さええて演つてただろうね。

紫 はかないイメージが私にあるから、その上に作ると魂が抜けたようになってしまってね(笑)。

一路 ともことは、ともこが月組に行ってて何年かのブランクがあるから、その上に作ると魂が抜けたけど、トップのお披露目の時お互いに意識しないで出来て、す

紫 とても良い雰囲気ですもの。お稽古が嫌だと思った事無いです。大田 明るいよね。今度の芝居も底に陰謀が渦巻くから表面は明るくだよ。2人が中心の物語だけど、演出家としては全部が見どころですって言いたいのです(笑)。

一路 ともこの最後の大劇場です。見どころいっぱいの「ブルボンの封印」、ぜひ見に来て下さい。



マノン・紫とも

ジェームス(左)とルイの2役・一路真輝

BOW

●「夢の10セント銀貨」

との生活ももう一度み
じめなサラリーマン。ある

妻エリー（麻乃佳世）

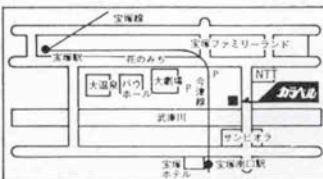
BOW

演11／16午後6時開演。S3500円、A2500円、B2000円。

宝塚歌劇 座席券セットのホテル

宝塚レディース イン

●ご宿泊(朝食付) お一様￥5,700
<税別> 全室バス・T.V付



レストラン
カラベル
欧風料理

宝塚レディースイン1F

阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001

STAGE

**MESSAGE
from
AKARAZUKA**



CD情報

四

日10セント銀貨を拾うと、突然もう一つの世界へ…。

NEWS

● 友の会へのお誘い
素敵な夢を贈り続け
る宝塚の舞台。そのレ
ディドリーマーの世界
への架け橋、宝塚友の会に
あなたも入りませんか。

ご入会のお問合わせは
宝塚友の会 TEL 665-8011
町1の1の57 電 0797
(85) 6801まで

KOBE FASHION SPOT

★ "ビスクアート"がやつてきた
アメリカで生まれた、好みの素
焼き(ビスク)に絵つけをすると
いう新感覚の会員制ホビーサロン
"ビスクパレット"が10月29日に
オープンした。

従来の樂焼きと異なり、強度の
ある陶磁器及び発色の良い200色も
の絵の具を使用するため、よりア
ーティスティックに楽しめ、ビス
クも約100種類があるので、自分で作
った食器でテーブルセッティング
することもできる。



お洒落で素敵な作品たち



こだわりの鞄がずらり…

AUMが、関西第1号店として六
甲アイランドにオープン以来、着
実にファンを増やしている。

10数色ある皮を選び、好みのデ
ザイン・サイズを告げれば、約2カ
月で自分だけの鞄ができる。上級の
「ブランド」ものを卒業し、本当に
使い易く、良いものを持ちたいと
おっしゃる中高年の方が多いです
ね」とオーナーの松本さん。

中の細工や仕組にこだわったブ
リーフケースを求めるビジネスマ
ンも多いとか。

自分でだけの究極の鞄を作つてみ
てはいかが?

■ A U M
六甲アイランド・リバーモール1F

電 (078) 858-12896
営 10時~20時
木曜定休

★ディズニーの主人公たちが
みよう。

神戸の街にやつてきた!!
10月21日(木)~24日(日)まで、

神戸ファッショントマートにおいて

「ディズニー・ファッショング・フェスタ in 神戸」が開催された。

ウオルト・ディズニー・エンタ

プライズ株の代表取締役ギー・R・
ボット保まで。総切は11/30。



お洒落なテレカ・セット
SCOTSWELL KOB

SAKURA AUTUMN COLLECTION '93



■このテレカを10名様にプレゼント。
「テレカ希望」と書いてファックス

ボット保まで。総切は11/30。

★こだわりの鞄を作りで
新宿のペニーズニューヨーク
で、AUM 松本のブランドで人気
を博していたハンドメイドの鞄店

■袖モモカンバ二一 ビスクアート事業部
神戸市中央区江戸町100 高砂ビル3F
電 (078) 333-19847
営 11時~19時 (木のみ21時まで)
日・祝休

★セリザワ創業90周年記念テレカ
ブレゼント!

エレガансを語り、神戸のファ
ッションをリードしてきたブティ

ック・セリザワ(芹澤豊男社長)
が、今年90周年を迎え、それを記
念して素敵なテレフォンカードを
作った。



可愛いファッションショー

アールフット氏は「このイベント
をきっかけに関西にディズニーマ
ジックを浸透させたい」と挨拶。
ファッショング・マートとリビング
連のディズニー・キャラクター・
グッズの展示、生活の中の12シ



90th ANNIVERSARY
Merry Christmas
UNIVERSAL CITY PLAZA



serizawa

KOBE

本店

神戸市中央区三宮町3-1-8

TEL.078-331-1695

●レディス●

本店

さんプラザ店

センター街店

さんちか店

P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO

KYOTO・HIMEJI・GIFU

お洒落のための特典いろいろ
1枚のカードから。



セリザワカード



クラシックを軽やかに。

WINTER COLLECTION '93-'94

藤本 統紀子の おしゃれ 散策



ホテルオークラ神戸 スカイバンケットルームで、パトリック・ルイ・ヴィトンさんを囲んでルイ・ヴィトン神戸直営店店長の大豊昌子さん(右)と藤本統紀子さん。左前はマハラジャのティーケース、右後ろは銀髪の指揮者ストコフスキーが豪華船ノルマンディ号の旅で使ったデスクトランク。パリ、アニエールのルイ・ヴィトン・ミュージアムに展示されているものをそのまま展示。同会場ではパトリック・ルイ・ヴィトン氏によるスペシャルオーダーの受注も行わされた。

パトリック・ルイ・ヴィトン氏来日

〈ルイ・ヴィトン スペシャルオーダー総責任者
ルイ・ヴィトン家5代目

会社では創業15周年を機にスペシャルオーダー部門を創設拡大。これを記念してパリのスペシャルオーダーの総括責任者であり、ルイ・ヴィトン家5代目のパトリック・ルイ・ヴィトンが来日した。10月19日(火)にはホテルオーディアムでパーティが開かれた。会場にはパリ、アニエールのルイ・ヴィトン・ミュージアムに展示されているルイ・ヴィトンの歴史に残る名品や約50点にのぼる最近つくられたスペシャルオーダー製品が展示。当日は藤本統紀子さんもパーティに出席。

パトリック・ルイ・ヴィトン氏と西尾忠久氏のトークショーではルイ・ヴィトンの魅力が披露された。

パトリック・ルイ・ヴィトン(以下パトリック・ルイ・ヴィトンは1854年パリに旅行鞄専門店としてオープンしましたが、私は1973年に入社しました。ルイ・ヴィトンでは専門職の各工程ごとに職人がいます。親子3代にわたりビスを打っていたりするのですが、私はこれ

の全ての工程を経験、修養してきました。これは初代のルイに始まり、ジヨルジュ、ガストン私の父クロード、そして私5代目へと受け継がれている伝統であります。その後、工場長、本社統括の技術部門の責任者、クリエイション部門、広報部門と様々な仕事を経験しましたが、私の真髓は自分で鞄をつくり、



愛情を注いでつくられたスペシャルオーダー製品



シューストランク：1足ずつ靴が入る

お客様のきびしい要望にお応えすることにあります。パリ郊外、アニエール工場ではスペシャルオーダー専用のアトリエがあり、私は技術を教えた職人や、私と共に長い間一緒に仕事をしてきた職人が10人程おり、現在も週2回は顔を合わせています。

——アルゼールにルイ・ヴィトンの真髓があると思いますが：

パトリック アルゼールは20世纪初めにジヨルジュ・ヴィトンによって開発されたトランクですが、大変機能的で便利です。ボプラの木を中心に使っているので耐久性が良く、飛行機で荷物を預ける時も何の心配もいらない完璧な品質を持っています。

西尾 私は20年前にニースのルイ・ヴィトンでこのトランクを買いました。その後、40回以上海外旅行にこの鞄を持っていましたが、どこもこわれていなければなりません。その頑丈さに惚れて50から60ぐらい、ビーナツのようにあとを引いてヴィトンの製品を買い続けていますよ。鍵をロンドンで落としたこともあります。ですが、本店に行くとスペアキーであけてくれて……すごいなと思いましたね。

パトリック ヴィトンの魅力は製造に多大な愛情を注いでいる点に尽きます。とても

品質を尊んでいます。例えばトランクに使用されているボプラの木はわくを組み立てる前に7

年間アトリエで乾燥させています。皮の染色もチエックを一つ一つ怠っていません。いいものは何世代にも渡り使われ、その間に何回も世界を回ります。古いトランクをあけるとその時の旅行の想い出、海の匂い、街の匂いなどが湧き上がりてくるのです。そういうすばらしい魅力があるのです。

今回は創業当時より当社の真髓であるスペシャルオーダーの部門を日本においてより充実させました。どのようなお客様のご要望にも広くお答えしていくたいと思っています。

トーケンショウの後に藤本統紀子さんに感想を伺つてみました。

藤本 パトリックさんがバッグを全部ご自分で作りになると伺つて驚きました。伝統が受け継がれているのですね。西尾さんはお持ちになつたトランクの中のナンバーをパトリックさんがご観になつておおよその製造年がおわかりになると伺つて、それだけ情熱を込めて製品を作つておられるのだと思いました。

スペシャルオーダーはすばらしいですね。一度、展示されていたデスクトランクを持つて旅をしてみたいですね。

■ルイ・ヴィトン神戸直営店
神戸市中央区元町通3—4—9
078-391-3261

■Fashion
Interview

”出版

こに



藤本ハルミさん

——着物地のドレスを創ることになつたきっかけは何でしょうか。

藤本 昭和42年に初めてヨーロッパへ行って、カルチャーショックを受けたんです。気候も、体型も

日本の伝統の着物地を使ったオリジナルの洋服を創り続けて25年のデザイナー藤本ハルミ先生。今までの活動の集大成として、流れの季節に・藤本ハルミ作品集・が出版され、12月14日には出版記念と合わせて、作品のファッショショードが開かれる。そこで、藤本先生にインタビュー。

違うのに、パリのオートクチュールを追いかけた愚かさを痛感しました。

日本を代表してミラノのスカラ座へ行く時何を着るかです。日本の伝統の着物地や帯地、これならパリのオートクチュールにも優とも劣らないです。それを華道の小原豊雲先生にお話ししたら、「やってみろ」と言って下さって、翌年の明治百年を記念して、日本の古典を探る・のショードとなりました。

——77年のファッショショードで

テーマ・日本の四季・流れる季節に・・・が出てきましたが。

藤本 あのショードの前にムーンライトのレストランで、美術担当の石阪春生先生、音楽の新井満さん、照明の林恵介さん、演出の岡田美代さん、小泉美喜子さんが5時間位かけて・藤本ハルミ解体論・をしてくれました。その時自分が日本の四季をどんなに愛しているかが解りました。そのテーマが決まってから、私は迷うことなくシヨーの仕事が本当に楽しくなりま



“流れる季節”。の鶴飛翔

SELLER & EXPORTER OF Cultural Pearls
KINOSHITA PEARL CO., LTD.

株式会社 木下真珠

人に、美しいもの。
①大月真珠

神戸市中央区山本通1丁目7-7
本社・TEL.(078)221-0487-7870
オーダーサロン・TEL.(078)221-3170

HARUMI FUJIMOTO
藤本ハルミ出版記念パーティ

1993年12月14日(火) p.m. 6:30 ~
新神戸オリエンタルホテル・真珠の間



“流れる季節に”より菊姫

●作品集 “流れる季節に…

藤本ハルミの世界がこ

したね。

— KFM (神戸ファッショントリスト) を創ってグレープでもショーケースを催されていますが…。

藤本 個人では10年ごとにショーをしてきましたが、デザイナーと名のるからは、自分の衣裳哲学を表現するショーケースを発表するべきだと思います。売ることだけではなく、自己表現ですね。そこで同じ考え方を持つ人達が集まつてすれば費用も分担できますから。'80年に結成して、13年経ちます。

— 神戸ネオ・トロピカル協会も創設され幹事をされていますね。藤本 日本ネオ・トロピカル協会の会長の森美代子さんとは、真円真珠70周年の真珠コンテストのショードレスをお貸ししたのがご縁です。ロングドレスにタキシードという格調高い雰囲気に初め驚きましたが、神戸こそフォーマルパーティが似合う街だと、ポート

ピア'81の年に創立しました。

日本人は、何でも世界中のものを受け入れる民族です。着る物も

食べ物も。洋服を取り入れただから、フォーマルをもつと身につけてゆかなければいけませんね。

— ライフワーク25年を迎え、本の出版と出版記念会について…。

藤本 本については、神戸っ子の小泉美喜子編集長に、季節の女、でエッセイと作品を連載してみないかと勧められ、約2年続けました。それを一冊の本にまとめるな

ど、思いもつかない事でした。思い返すと、エッセイに子供時代の事を綴るうちに、私はこの仕事をするように育って来たのだと思われなりません。

12月14日の出版記念会では、作

品のミニファッショントリートン展示では、柴田美保子さんの司会で、田辺聖子先生、新井満さん、森美代子会長がゲスト出演して下さいます。田辺先生はお忙しい中をカモカのおっちゃんと一緒に出席して下さるところ。本当に立派な人達に助けられて私は幸せだと思います。

また、今度のショーケースにも真珠各社のご協力で華を添えていただきます。日本の布地に日本の真珠が映え、品格を増してくれます。パールシティKOBEで、真珠と共に日本美を追求できた事は本当に幸せです。



山勝真珠

本社・神戸市中央区山本通2丁目5-3
TEL. (078) 231-8141
さんちか店・さんちかローザベニュー
TEL. (078) 391-4325
大阪・京都・岡山・東京・横浜

MORI
Pearls
Co., Ltd.

森真珠 株式会社

神戸市中央区二宮町1丁目4-15
TEL. (078) 222-5881㈹



田崎真珠

神戸市中央区港島中町6丁目3-2
TEL. (078) 302-3321



タカハシパール株式会社

神戸市中央区山本通1丁目6番20号
TEL. (078) 221-0075㈹
FAX. (078) 221-0141

“伊藤誠さんを祝う会”



開館5周年を迎えた
北野ホワイトハウスで
伊藤誠さん 神戸文化賞受賞の集い

“新谷琇紀の世界”



新谷 索紀の世界

神戸・北野 White House 開館5周年記念
彫刻家

1993年12月27日(月)まで
開催中

●10月27日(水)・11月24日(水)は休館

AM10:00～PM6:00
(12月はAM10:00～PM5:00)

■会場 神戸・北野White House

■観覧料 一般300円(前売250円)・高校生以下100円(前売80円)

■前売券発売所 さんちかブレイガイド

協賛=(財)兵庫銀行文化振興財団/(株)オリエントコーポレーション

主催=神戸・北野White House/santica/(財)神戸市民文化振興財団/神戸新聞社

観光客で賑わう北野町の、三本松の不動尊を西へ。旧アメリカ領事館の官舎(神戸市指定伝統的建造物)を神戸地下街KKがレベルの高いギャラリーとティールームの異人館“神戸・北野ホワイトハウス”としてオープン、この秋5周年を迎える。12月27日まで“新谷索紀の世界”展が開催中である。

10月29日の夜、姫路市立美術館副館長の伊藤誠さんが、神戸市文化賞を受賞され、そのお祝いの集いが“神戸・北野ホワイトハウス”で開かれた。荒川神戸新聞社長は「神戸新聞の仲間で、古いつきあいだが、大阪府立大工学部機械科出身なのに“ロダン”的彫刻に泡立つ感銘を受けて、美術を愛する人になつたそうです。昭和31年に神戸新聞美術記者44年に事業部長となり、スペイン版画展、セガンチーニ展、マチスとその周辺展など世界の美術展を神戸で開いたパイオニア。58年に、姫路美術館副館長として様々な企画展を催し、そのお人柄と交遊関係は幅広い。どうぞ初心を忘れず地域文化、日本文化、世界文化への貢献を」とメッセージ。

森本泰好(㈱サンサービス社長)は「伊藤さんのヨーロッパでの美術展企画の人脈ネットワークをぜひ後輩が受け継いでほしい」また、神戸・北野ホワイトハウス5周年には「神戸の企業は、神戸のおかげで利益をあげられているのだから、地元還元を」と、メセナの必要性を説かれる。

石阪画伯は「異人さんの生活空間に絵をかけると天井が高くてとてもいい。異人館からの文化発信には、神戸のブランドがある」と。



神戸・北野

White House

旧アメリカ領事館官舎 神戸市指定伝統的建造物